

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

学校名	神崎市立千代田中部小学校
-----	--------------

1 前年度 評価結果の概要	昨年度は、「ほめほめ活動」を行い、児童の自己肯定感、自己有用感を高めることで、学習面、生活面どちらにおいても児童の意欲を引き出すことができた。それにより、ほとんどの評価項目において具体的目標の数値を達成することができた。しかしながら、健康・体力作りにおいては「睡眠時間の確保の習慣化」、学力向上においては「読書の充実」、業務改善においては「超勤時間の削減」の3点において達成することができなかった。
------------------	---

2 学校教育目標	たくましく 賢く、ともに生きる児童の育成
----------	----------------------

3 本年度の重点目標	1 自己肯定感・自己有用感の育成（「ほめほめ活動」の継続） 2 学力向上（・校内研究の充実 ・新学習指導要領への対応 ・語彙力・表現力の育成） 3 全職員で全児童を見守る組織作り
------------	---

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目			
評価項目	重点取組		具体的取組
	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・マイプランについて、学期に1回振り返りを行い、自身の取り組みへの意識の継続化を図る。
	○一単位時間の充実 (算数科における導入の工夫と、終末の適応問題の取り扱い)	○算数科の授業で、児童の学習意欲を高める導入や終末の適応問題の適切な取り扱いにより、基礎的基本的な内容の確実な習得に結び付けたと回答した教師85%以上	・校内研究で、導入の工夫や終末の適応問題の取り扱い方を視点にした授業づくりについて、研究を深める。
	○語彙力・表現力の育成	○週末の作文の課題に関するアンケートで、「書くこと」について肯定的な回答をした児童85%以上 ○学習状況調査等の記述式の問題で、無回答率が県平均より下回る。 ○本の目標貸出冊数を達成した児童75%以上	・週末の作文について、児童の語彙力・表現力をほめる活動を行う。 ・児童の読書意欲を高める働きかけを行う。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて、肯定的な回答をした児童90%以上 ○年間を通して、ボランティア活動へ参加したと答えた児童が80%以上。	・なかよし集会や道徳に関するアンケート(挨拶、言葉遣い、農園活動、縦割り活動、無言掃除)を実施する。 ・ふれあい道徳教育を年1回以上行う。 ・保護者や地域の方と連携した体験活動を行う。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等について、組織的対応ができていと回答した教師90%以上	・いじめの覚知・認知に対する対応マニュアルの作成・見直しを行う。 ・いじめの対応についての研修会を年間に2回以上行う。 ・心のアンケートを毎月実施する。
	◎自己肯定感・自己有用感の育成	○自己肯定感・自己有用感を尋ねるアンケートにおいて、肯定的な回答をした児童70%以上	・支持的風土の学校・学級づくりに努め、日頃から、自分や友達のよいところを見つけほめる活動を推進する。
●健康・体づくり	●「安全に関する資質・能力の育成」	●児童の交通事故を0(ゼロ)にする。 ○安全に気を付けて登下校できたかを尋ねるアンケートで、肯定的な回答をした児童90%以上	・学級活動で、児童に安全な登下校について考えさせる授業を行う。 ・登校班での話し合いを月1回行い、安全に登下校する意識をもたせる。
	○自らの生活習慣を見直し、修正できる能力の育成	○睡眠時間の確保について尋ねるアンケートで、肯定的な回答をした児童90%以上	・学期に1回、生活習慣見直し週間を設定する。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・パソコンによる業務管理の徹底を管理職自ら行う。
	○3部会制の導入による学校運営への参画	○自らの校務分掌において、学校目標達成のための働きができたと回答した教師85%以上	・自己申告書の自己目標と学校評価で担当した校務分掌上の目標を連動させ、日常の業務を遂行する。

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			
評価項目	重点取組		具体的取組
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
○ユニバーサルデザインに基づく教育環境整備	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教室環境整備 ○授業のUD化の推進	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教室環境整備について尋ねるアンケートで、肯定的に回答した教師85%以上。	・ユニバーサルデザイン教育について、特別支援教育コーディネーターを中心に、校内研修会を年に2回行う。 ・特別支援教育について、校内研修会を年1回以上行い、配慮を要する児童の特性等について理解を深める。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------